



みなみ

南小の校訓：ほんきに なかよく がんばる



石岡市立南小学校
学校だより No.17
発行日 2023.12.8
文責 校長(山口)

冬に備えた身体づくりを

朝の冷え込みが強くなり、布団からなかなか出られない・・・季節になってきました。天候による寒暖差も大きく、学校ではかぜやインフルエンザなどの疾患も一定数発生しています。季節の変わり目の健康管理面では、起床・就寝時刻を変えないことや食事、運動にも気をつけたいものです。

今月から来月にかけて、業間の時間で「なわとび」「ランニング」の運動機会を設定をしています。先日の報道では、コロナ禍を経て児童生徒の体力が低下し、肥満が進んでいるとの話題がありました。健康や運動習慣について、児童と考える機会としたいと思います。



インターネット接続機器の安全のために

本県施策に関連する「児童対象の携帯・インターネットの利用に関する調査」を実施しました。

各家庭で児童が使える携帯電話やパソコン、ネット通信ができるゲーム機等の環境が整い、児童は保護者も把握できない広い世界と、容易に繋がれるようになりました。その結果、県内のあちこちで、児童の心身に危険が及ぶ事態が発生しています。この調査は、児童の使用実態を把握し、安全のための施策を充実させるために実施されたものです。対象は4～6年生です。

右のように、本校では児童8割以上の家庭で、機器使用上の約束があるとの回答でした。約束の詳細はわかりませんが、家庭での使用上の約束を、児童が自覚していることとなります。今後とも、児童の成長、使用状況の変化に応じて、各家庭でルールについて話し合い、適切な活用への働きかけをお願いいたします。

調査結果の内容で、保護者の皆様と共有したい情報は次の2点です。

①「知らない人とのネット上でのやり取りがある」4年11% 5年32% 6年32%

②「ネットで知り合った人と実際にあったことがある」4年3.8% 5年2.4% 6年2.8%

この詳細はわかりません。保護者が状況把握をしていれば大丈夫なのですが、心配しています。

ネット上で知り合うのは、ゲームやSNS等がきっかけと思われれます。はじめはオープンな場面から、やがて個別でのやり取りに発展するものが多いようです。しかし、個別のやり取りを求める人の中に、悪意をもって子供との接触を意図する者が紛れ込んでいることへの警戒が必要です。

その者は、個人的な話題でつながりを増やし、悩みや秘密の共有、リアルの子供情報や人間関係を、半年～数年計画で巧みに引き出します。相談と称して架空の自分の画像を送付し「あなたのは？」と画像を送付させるなど、気がついたときには引き下がれない状況になっています。大人がわかる頃には、誰にも相談できないまま、かなり追い詰められた状況になっています。また、実際に会うことになり、被害に遭う場合や、自身の寂しさや悩みを紛らわせるため、自分からアプローチして依存していく場合もあります。さらに、ネット上に拡散したデジタルデータの消去は困難です。

大切なお子さんを、悪意を持った大人から守るためにも、機器の安全な使い方や使用時間の約束、使用状況を把握するなための方法について、各家庭での約束や保護者の働きかけが大切です。

